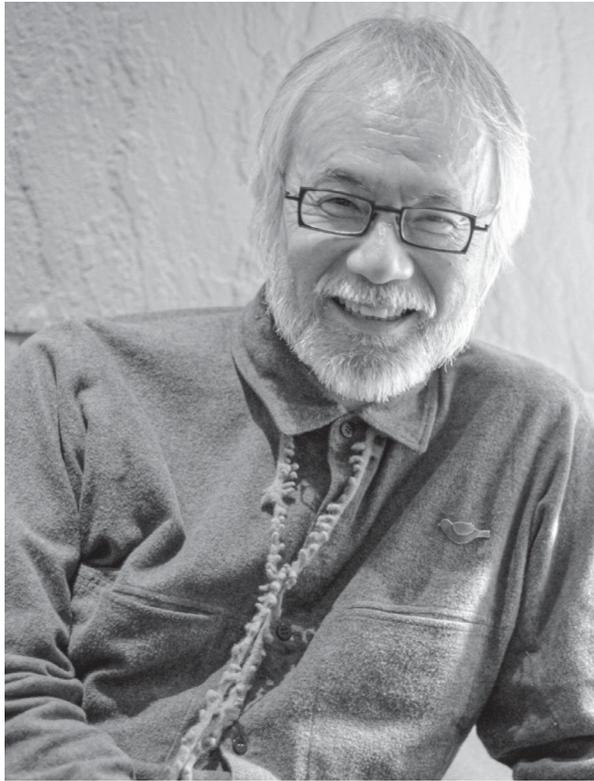


令和7年度(2025)

# 「山形小説家・ライター講座」

## 第10回鶴岡出張講座



講師 **佐伯一麦氏**

(野間文芸賞作家・仙台文学館長)

司会 **池上冬樹氏**

(文芸評論家)

### 第1部 講評

(提出された作品の講評を行います)

### 第2部 トークショー

日時 令和7年8月30日(土)  
午後2時～4時頃

会場 出羽庄内国際村

鶴岡市伊勢原町8-32

TEL 0235-25-3600

先着 150名様

受講料 500円

※高校生以下無料



### Profile

1959年、宮城県仙台市生まれ。仙台第一高校卒。雑誌記者、電気工など様々な職に就きながら、1984年「木を接ぐ」で「海燕」新人文学賞を受賞し、作家デビュー。1990年『ショート・サーキット』で野間文芸新人賞、1991年『ア・ルース・ボーイ』で三島由紀夫賞、1997年『遠き山に日は落ちて』で木山捷平賞、2004年『鉄塔家族』で大佛次郎賞、2007年『ノルゲ Norge』で野間文芸賞、2014年『還れぬ家』で毎日芸術賞、『渡良瀬』で伊藤整文学賞、2020年『山海記』で芸術選奨文部科学大臣賞を、それぞれ受賞。他に『雛の家族』『一輪』『木の一族』『石の肺』『ピロティ』『誰かがそれを』『光の闇』『空にみずうみ』『アスベストス』『川端康成の話をしようじゃないか』(小川洋子氏との共著)など。2022年『Nさんの机』は山形新聞に2013年から2017年までに掲載されたエッセイ集となり、2024年3月から1年にわたって、『水平と垂直』が同紙に連載された。また、2024年『ミチノオク』では「飛島」「月山道」への旅を綴っている。

受付は7月8日(火)午前9時30分より開始します。

#### 【申込方法】

- ①図書館本館に直接
  - ②電話：☎0235-25-2525
  - ③メール：library@city.tsuruoka.yamagata.jp
  - ④電子申請：Googleフォーム(上記2次元コードからアクセスできます)
- なお、受講料は当日にいただきます。詳しくは鶴岡市立図書館本館までお問い合わせください。

## 「山形小説家・ライター講座」とは…／

本講座は、平成9年（2007）4月、直木賞作家である高橋義夫先生を講師としてスタート。その後、山形市在住の文芸評論家・池上冬樹先生が講師兼世話役を引き受け、現在までたくさんの受講生とともに歩んできた“真剣かつカジュアル”がモットーの、有志による愉快的自主運営の文学講座で、今年度は10回、遊学館（山形市緑町一丁目2-36 山形県立図書館併設）とオンラインで開催しております。第一線で活躍中の作家や評論家の方を講師としてお招きし、受講生が提出する短編作品（毎回3～5本）をテキストにして、講評ならびにトークショーを行っています。

小説・エッセイ・詩・短歌など文章を書くことが好きな人はもちろん、書かないけれど、本を読むことが好きな人も歓迎しています。

## 「鶴岡出張講座」とは…／

平成28年（2016）9月より、鶴岡市立図書館が主催として年1回のペースで開講。これまで、三浦しをん氏、角田光代氏、村田沙耶香氏、中島京子氏、井上荒野氏、穂村弘氏、あさのあつこ氏、逢坂剛氏、酒井順子氏を講師に迎え、本講座のスタイルをそのまま鶴岡に持ってきて、対面スタイルでテキストの講評とトークショーを行っています。

## 「山形小説家・ライター講座」 令和7年（2025）講師一覧

※敬称略

### ▶通常講座

- 4/27 大森望(文芸評論家) ○
- 5/25 根岸吉太郎  
(映画監督、東北芸術工科大学理事長) ○
- 6/22 東直子(歌人、小説家) ○
- 7/27 酒井順子(エッセイスト) ○
- 9/28 辻真先(ミステリー作家) ○
- 10/26 梯久美子(ノンフィクション作家) ○
- 11/30 角田光代・井上荒野・江國香織  
(直木賞作家たち) ●
- 1/25 羽鳥好之  
(歴史時代小説作家、元編集者) ○
- 2/22 三浦しをん(直木賞作家) ●
- 3/22 堀江敏幸(芥川賞作家) ○
- ▶書評講座 豊崎由美(書評家) ○  
6/1 10/5 2/1

興味のある方は、是非ともご参加ください。  
○印はオンライン、●印は遊学館を会場に  
対面&オンラインの併用講座となります。なお、  
詳細については、「山形小説家・ライター講座」  
のX(旧Twitter)をご覧ください。

## ◆提出方法

- 提出する小説・エッセイのテキストの長さは原稿用紙80枚以内。テキストにはあらすじ(400～600字程度)も添付してください。
- 当日講座に参加できる方のみ、作品の提出を受け付けます。
- 提出されたテキストは、池上冬樹氏が講師との相性などを考慮し決定します(当日取り上げる作品は数本と考えております。応募多数の場合、テキストの採用を見送る場合がありますので、ご了承ください)。
- テキストは文書作成ソフト「word」にて読みやすい形(A4横、40×30字程度の縦書き)で作成し、下記アドレスにメール添付にて、または鶴岡市立図書館カウンター窓口にてデータを提出してください(データ提出はCD・DVDにてお願いします。USBメモリ等での提出は、セキュリティの点からご遠慮願います)。
- テキストに選ばれた方には、電話にて連絡いたしますので、当日繋がる電話番号も明記してください。

テキスト提出の締め切り 8月17日(日)

## ◆テキストの提出先



library@city.tsuruoka.yamagata.jp または、  
sakka.naro@r7.dion.ne.jp

※表題に【出張講座用テキスト】と明記してください。

## ◆テキストの事前配布

- 参加申し込みいただいた方には、8月23日(土)より、鶴岡市立図書館カウンター窓口にて配布します。
- なお、当日、会場でも配布します。